電動もみすり器 TR-250 取扱説明書

本器にはモーター駆動のもみすりロールユニットが内蔵されています。試料投入口から指などを入れると、もみすりのローラーに触れ、けがをする恐れがあります。絶対に入れないでください。

● 電動もみすり器TR-250について

本器は、弊社の電気抵抗式米麦水分計「PB-1D2」「SP−1D3」「ライスタf」などの玄米試料を作成するのに最適な電動式のもみすり器です。

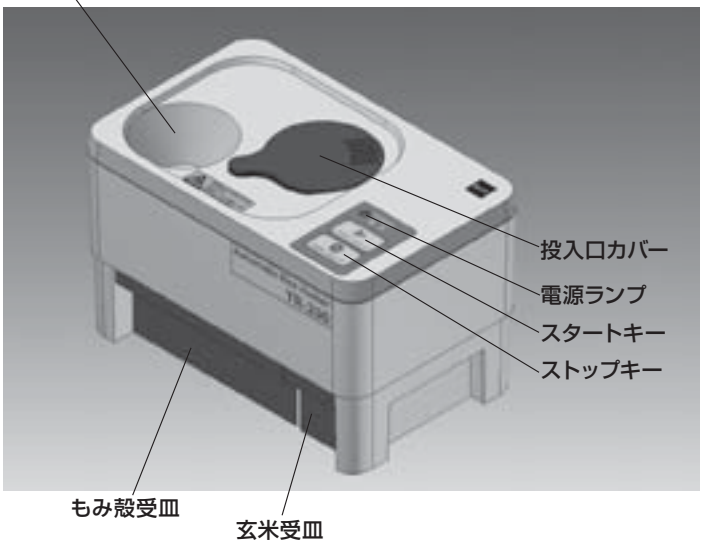
もみすりと同時にもみ殻と玄米を分離し、水分測定に必要な玄米のみを採取することができますので、多点の水分測定を必要とするライスセンターやカントリーエレベーター等の農業施設において、水分測定作業の効率向上に役立ちます。

● 仕　様

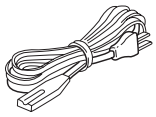
もみすり能力 ： 約20g/60秒
適用水分範囲 ： 12 ～ 18%
安 全 装 置 ： 過負荷自動停止装置
電　　源 ： AC100V(50/60Hz)
寸　　法 ： 205(W)×130(D)×130(H)mm
質　　量 ： 約1.8kg

● 各部の名称

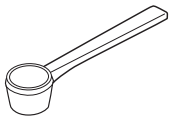
《本体》



《付属品》

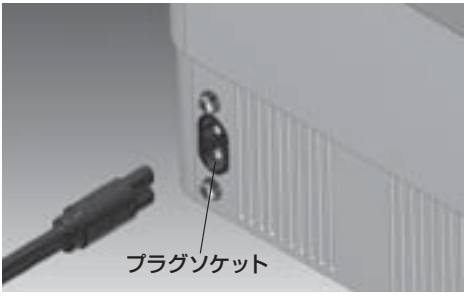

電源コード

ブラシ


定量スプーン

● もみすり方法

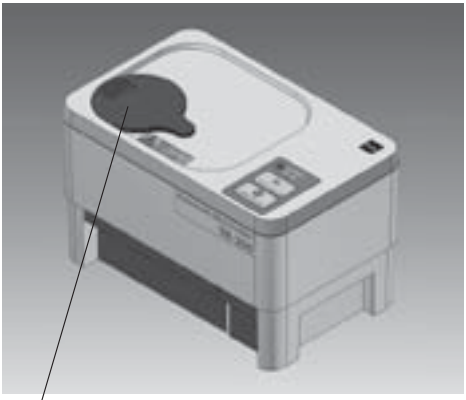
① 電源コードのプラグを本体背面のプラグソケットに差し込み、AC100V電源に接続します。このとき電源ランプが点灯します。



② 投入口カバーを開け、付属の定量スプーンでもみを取り、もみ投入口に入れます。

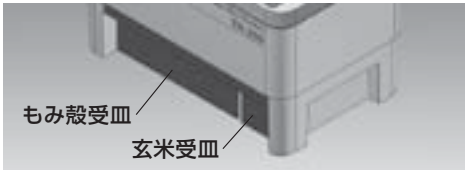
＊一度に投入できるもみの量は 約20g（投入口部分がほぼ一杯となる量）が目安です。無理に大量のもみを入れてしまうと 器械内部でもみが詰まり、器械が動かなくなる場合があります。

③ 投入口カバーを閉め、[スタート]キーを押します。
モーターが動き出し、もみすりが始まります。



＊ もみすり運転中は、投入口カバーを閉めてご使用下さい。カバーを閉めておかないと、もみが外に飛び出してくる場合があります。

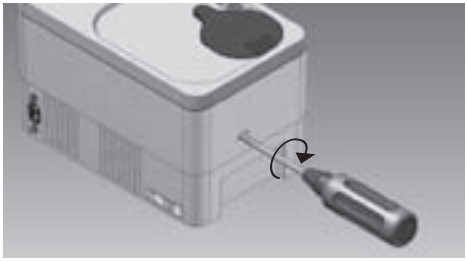
④ もみすり運転中は器械内部で「ゴツ、ゴツ」ともみすり音がしています。
もみ殻や、やせた粒などはもみ殻受け容器に、そして試料となる玄米は玄米受け容器にたまります。



⑤ 器械内部にもみがなくなると「ゴツ、ゴツ」音がなくなり、モーターの回転音のみになります。その約15秒後に［ストップ］キーを押し、運転を終了します。

＊ もみすり音が無くなった直後に［ストップ］キーを押してしまうと、もみが器械内部に残ってしまうことがあります。

＊ もみすり運転中に本体内部でもみが詰まったり、小石などの異物が入ったりした場合、モーターを自動的に停止させる安全保護機能を装備しています。保護機能が働き、運転が途中で停止した場合には、もう一度［スタート］キーを押すことで復帰運転が可能となります。
それでも動作しない場合には、本体側面にある丸穴部分にマイナスドライバーを入れ、右回り（時計回り）に半回転程度回してから、再度［スタート］キーを押すと復帰運転が可能です。



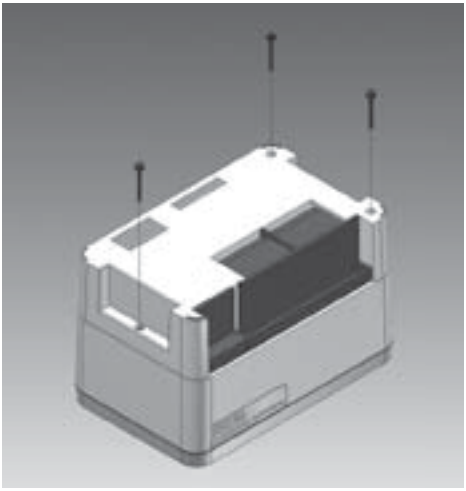
＊ 異物の噛み込みが原因の場合には一度本体を分解し、異物を除去する必要があります。
次項「●もみすりロールユニットの交換方法」を参照の上、作業して下さい。

● もみすりロールユニットの交換方法

本器の内部には、[もみすりロールユニット]という部品が組み込まれています。
ユニット内部のローラーは、長期間の使用等により、摩耗を生じます。
ローラーの摩耗が激しくなると、もみすりの処理能力が低下したり、ローラーに異物が挟まりモーターが動かなくなったりするようなトラブルを引き起こします。
こうした傾向が見られる場合には、以下の方法で[もみすりロールユニット]を交換してください。

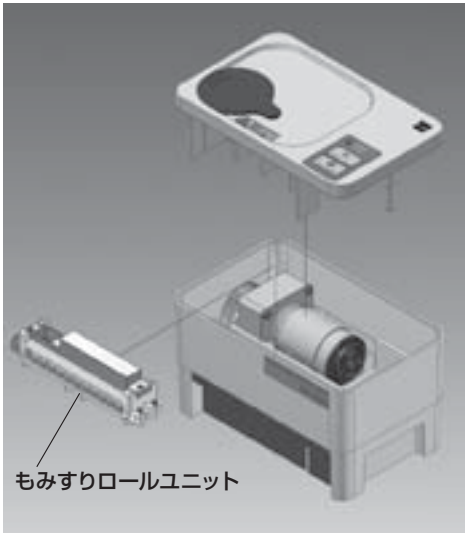
① 電源プラグを本体から外します。

② 本体をさかさまにして、3本のビスを外します。



③ 本体を起こし、上ケース部分を垂直に外し、[もみすりロールユニット]を取り出します。

＊ 器械内部にもみ殻等が残っている場合は、このときに掃除してください。



④ 新しい[もみすりロールユニット]を本体内部へ組み込みます。このとき、ロールユニットのギアとモーターギアがしっかり噛み合うことを確認して、組み込んでください。

⑤ 外した上ケース部分を再び元に戻し、下ケースにピッタリとはめ込みます。この時、配線を挟まないように注意してください。

⑥ 上ケース部分をしっかりと押さえながら本体を逆さまにして3本のネジをしっかりと締めます。

⑦ 本体を起こし、再度、本体背面のプラグソケットに電源プラグを差し込み、[スタート]キーを押します。
動作音に異常がないことを確認したら交換作業の完了です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固く禁じます。
- 本書の内容につきましては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されている製品および付属品の外観・画面等は、実際と異なる場合がありますが、操作・機能には影響ありません。
- 本書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、ご不明点や誤り、記載漏れ等お気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。
- 本書を運用した結果の影響につきましては、上項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

Kett

株式会社ケツト科学研究所

●URL http://www.kett.co.jp/ ●E-mail sales@kett.co.jp

東京本社　東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507
TEL(03)3776-1111 FAX(03)3772-3001

大阪支店　大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033
TEL(06)6323-4581 FAX(06)6323-4585

札幌営業所　札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841
TEL(011)611-9441 FAX(011)631-9866

仙台営業所　仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル 〒980-0802
TEL(022)215-6806 FAX(022)215-6809

名古屋営業所　名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル 〒450-0002
TEL(052)551-2629 FAX(052)561-5677

九州営業所　佐賀県鳥栖市布津原町14-1 布津原ビル 〒841-0053
TEL(0942)84-9011 FAX(0942)84-9012

1303・PA・0101・500